探究的に学ぶことを知る

高校1・2年生対象

探究する力育成セミナー

「探究活動」はいつまで‥？
高校まで？大学まで？それとも‥

目　的

〇探究的な活動を通して、多面的・多角的なものの見方・考え方を身に付けることを目指します。
〇探究的に学ぶとはどういうことか、その意味や重要性を考えます。

内　容

Zoomによるオンラインでの講義とグループディスカッション

特別講義Ⅰ
『「探究」でつながる！？
高校の学びと大学や企業の研究
～「探究」が学びを深める～』

講師　日産自動車株式会社　今荘　和也
株式会社本田技術研究所　長　美希

グループディスカッション

『探究について話し合おう！！
（特別講義Ⅰを受けて）』

県内の公立高校出身の大学助教・社会人・研究員・大学院生とのディスカッション

特別講義Ⅱ
『脳の窓からみるこころ』
講師　京都大学人間・環境学研究科　教授　月浦 崇

2021. 8. 7 土　10:00～12:00

申込方法　申込書を学校に提出してください。
詳しいことは担当の先生に聞いてください。

探究的に学ぶことを知る

探究する力育成セミナー

グループディスカッション参加者紹介（所属・名前・研究内容）

○京都大学大学院農学研究科
助教　高橋　春弥さん

「最先端の分析技術を駆使することにより、食品成分を網羅的に解析し、国民の豊かな生活を実現する上で重要な食品の健康機能性を総合的に明らかにすることを目指しています。」

○京都大学大学院人間・環境学研究科　共生文明学専攻
博士後期課程　白坂　彩乃さん

「20世紀前半のドイツ・オーストリアの文学を研究しています。わたしたちとは生まれた時代も国も違う作家が書いたテクストを丹念に読み解きながら、作品に現れた思想を浮かび上がらせようと努めています。」

○三菱ケミカル株式会社　三重研究所　高機能ポリマー研究室
五月女　聖さん

「大学院では赤青黄白などの光るプラスチックフィルムを作り出す研究をしていました。プリント手法で作れる超巨大有機ELテレビや、紙のように薄いスマートフォンの実現に貢献できます。」

○株式会社ゲームフリーク
研究開発部　田中　大輝さん

「大学・大学院生の時は深層学習を用いた画像認識を専門にしていて、特にデータセットに含まれる教師ラベルが不完全な場合に特化した手法を考えていました。現在は、主にポケットモンスターシリーズを制作している株式会社ゲームフリークの研究開発部に所属しており、機械学習の知識をゲーム制作に活かす仕事に取り組んでいます。」

○日産自動車株式会社 MCインフィニティプログラム管理部
主担 今荘　和也さん

「シャシー設計として、スカイラインなど複数車種の操縦安定性や乗心地開発に携わった後、現在はプログラムマネージャーとして、インフィニティ車種の、新車企画開発から製造販売と収益管理に至るビジネス全体を統括しています。」

○株式会社ヒューマンライフ・マネジメント事業開発グループ
石川爽一朗さん

「私は，ヘルスケア関連の企業にて新規事業の企画・開発に携わっています．大学院では，人と機械のかかわりについての研究を通して機械工学や情報工学の知識を深めました。現在所属する企業では，これまでに得た知識や考え方を活かして，よりよい福祉の形をデザインしていきたいと思っています。」

○一般財団法人 電力中央研究所
環境科学研究所 大気・海洋環境領域　西野　圭佑さん

「地球温暖化に際し大気中のCO_2の量が注目されていますが、海中のプランクトンは増えすぎたCO_2を吸収する緩衝材としての役割をもっています。私は植物プランクトンが沈降する速度を調べることにより温暖化の予測につながる基礎研究を行っています。」

○国立研究開発法人　海洋研究開発機構(JAMSTEC)超先鋭研究開発部門超先鋭研究プログラム
JAMSTEC Young Research Fellow
中島　悠さん

「微生物生態学を専門とし、様々な水圏環境にどのような微生物がどのくらいいて何をしているのかを研究しています。その中でも、新種の微生物探索や、微生物が持つ光受容体“ロドプシン”をメインの研究としています」

○株式会社本田技術研究所
先進技術研究所　長　美希さん

「昨年まで大学院で脳と記憶の関係について研究していました。現在は、大学院で培った専門性を活かし、自動車会社で働いています。大学や企業での探求について皆さんにお話できればと思っています。よろしくお願いします。」

○京都大学薬学研究科
薬品機能解析学　修士2回生
角　友登さん

「認知症の大部分を占めるアルツハイマー病の発症機構解明を目標としています。神経細胞に蓄積するタンパク質の「塊」の構造を詳細に調べることで目標達成を図っています。」

○京都大学大学院人間環境学研究科共生文明学専攻
修士１回生　八木　孝憲さん

「20世紀の歴史、特にアメリカの外交史について研究しています。具体的には、1940年代から50年代にかけてのアメリカの中国・台湾に対する外交政策を検討しています。」